

活動 内容

activities to people

1月1日の街頭演説からスタートした本年も、あとわずかとなりました。
この一年間のトピックスです。



フルインター化が決定したスマートインターチェンジを視察



知事から「国の施策及び予算に対する緊急要望」を提出



安全・安心のまちにタクシーの見守りを視察



崩落現場や他の危険箇所の確認、早期復旧を要請



国に対し花粉症発生源対策への助成措置など対策を要望



病弱支援特別学校高等部を設置する都立久留米特別支援学校を視察



森林保全対策について道志村を視察



生ゴミから電気を発生させるバイオマス発電を視察



四川大地震の街頭募金義援金を日本赤十字社山梨県支部に



建設事務所での要望及び意見交換



建設中の富士山静岡空港を視察



国に対し森林環境保全や林産資源活用への財政支援強化を要望



草が生い茂り流れが悪くなっている河川を視察



宮城県立子ども病院で意見交換



地域で行われた健康長寿の集いで



国の施策及び予算に関する要望活動に参加

ご相談はお気軽に…

TEL/FAX 055-252-0890

E-mail: yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp

〒400-0071 甲府市羽黒町1159-3

発行責任者: 安本美紀

皆様の声をお待ちしております。



山梨県議会議員

安本よしのり 県議会だより

県議会会派
公明党

〒400-0071
甲府市羽黒町1159-3

Vol.3

TEL/FAX 055-252-0890
E-mail: yasumotoyo-vic@fuga.ocn.ne.jp



県議会議員として、一年

初当選させていただいてより、何もかも新しい出来事に、どのように対処すべきか、この判断でよいのか、悪戦苦闘の毎日。そんな時、本年、いただいた年賀状の添え書きに「高齢者、女性、社会的弱者の立場に立つ安本さんの姿勢に、今年も注目しています」と。注目して下さっている方がいる、意を強くいたしました。そして本年九月議会の冒頭において「社会の豊かさとは、例えば、皆の生命の安全、健康が保証されているのか。ひとり暮らしのお年寄り、体の不自由な人、病身の方々が、安心して暮らせるかどうか。母子家庭や父子家庭の親たちが、無理なく勤労し子育てができるのか。未来を担う子供たちの目に、どれだけ希望の光が輝いているのか。中小・零細企業や小売商店の人たちが、生き生きと仕事に励んでいけるのかどうか。万人が、希望をもって生きることのできる社会であるのか。こうしたことが、かなえられていってこそ、豊かな社会といえよう」との師の言葉を引用させていただき、初心のままに前進しようと決意いたしました。これからも皆様とともに、全力で働いてまいります。



2月定例県議会 報告 (一般質問 要旨)

●原油価格高騰対策について

原油価格高騰が長期化することで、緊急対策だけでは対応できない新たな深刻な課題もさまざまに生じてきている。庁内連絡会議を対策本部に格上げし、原油価格高騰に対する県民からの要望について調査を行い、国への要望や本県独自の対策など、原油価格高騰対策をさらに強力に推進していく必要がある。

●発達障害児の早期発見のための取り組みについて

発達障害は、五歳くらいになって初めて症状があらわれることが多い。就学前健診で発達の遅れが見つかっていても、十分な対応ができないまま就学してしまうとの指摘もある。全国では五歳児健診の導入が進められており、本県でも全市町村が五歳児健診を実施できるようにと考えているが、五歳児健診の普及を含め発達障害児を早期に発見していけるようなとりくみを。

●中小企業の地域資源を活用した事業活動の促進について

地域の活性化は、その地域の中小企業や農林水産業をいかに活性化するかにかかっている。地域が有する優れた農水産品・鉱工業品、観光資源、産地の技術など、魅力ある地域資源を掘り起こし、これらを活用しての新商品の開発やサービス等を行う事業に対してどう取り組むのか。

●県立大学における国際交流の推進について

富士山、南アルプスを眺望できるすばらしい環境のもと、県立大学から次代を担い、世界に雄飛する数多くの人材が育ってほしい。本県と国際交流を行っている韓国、フランス、ブラジルの姉妹県を介するなど、大学間交流協定の締結や留学生の交流等について、さらに推進していくべきではないか。

●森林を活用した環境教育の推進について

環境教育では、環境問題に関する知識を身につけさせるだけでなく、植樹活動のような実体験を通じて自身を取り巻く生態系の尊さを体験し、環境を守ろうとする心を一人一人の子供たちの心の中に育ていくことが重要。森林環境教育を推進するための、学校林整備の促進と活用についての取り組みを。



委員会 報告 委員会では、次のような項目について質問を行いました。

<総務委員会> (2月定例会)

- 犯罪の起こりにくいまちづくりについて
- 行政評価制度の改善について

<教育厚生委員会> (6月定例会)

- 採血用穿刺器具の不適正使用について
- 原油高騰対策の実施について
- 長寿医療制度保険料額に関する調査結果と県HPの充実について
- 県立病院の経営形態について

<教育厚生委員会> (9月定例会)

- 山梨学校応援団について
- 新型インフルエンザ対策について

<特別委員会> (7月～10月)

- 県立病院あり方検討特別委員会
- 経営改善ステップアップ計画の進捗状況について
- 公務員としての身分について

<決算特別委員会> (10月～11月)

- 企業誘致の推進状況と新たな工業用地の確保について
- 放課後子どもプランの推進について

県議会の会議録は、山梨県議会ホームページで公開されています。 <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/gikai/index.html>



9月定例県議会 報告 (一般質問 要旨)

●山梨県地球温暖化対策実行計画の策定について

地球温暖化対策は県民1人1人や家庭での取り組みが大事。そこで身近な電力やガソリン消費量などのわかりやすい指標を設けて、一年間の取組みを通じたCO2の削減量を県民にフィードバックするようなシステムを実行計画に取り込むならば、実効性が上がると思うがどうか。

●花粉症対策について

本県では、花粉の発生源となるスギ林は約2万4千haあるとのことである。今後、伐採や少花粉樹種への植え替えなど、花粉症の発生源対策をどのように進めていくのか。また、予防対策としての花粉の飛散に関する予報や、花粉を身体の中に取り込まないためにはどのようにしたらよいかなどの情報提供等について取り組むべき。

●赤ちゃんを連れて、安心して外出できる環境づくりについて

赤ちゃんを連れて安心して外出できる環境づくりは、子育て支援の重要な施策である。そこで、県が来年度策定する後期行動計画においては、公共施設や民間施設へのベビーベッド・授乳室・給湯設備等の整備推進を積極的に図っていくべき。

●がん対策の推進について

我が国のがん医療は、相対的に放射線療法及び化学療法の提供体制等が不十分との指摘があり、本県においても、これらの専門医は少数である。県がん対策推進計画には、放射線療法及び化学療法を実施できる体制を整備するとの目標が設定されているが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

●ドクターヘリの運航について

本県の救急医療体制をさらに充実させるためには、早期に全県下でのドクターヘリの運航を行うべきと考える。県は、他県との新たなドクターヘリの共同運航や本県単独の導入等について、総合的に研究しているとのことだが、現在どのような状況であるのか。

●米粉の普及拡大について

米粉は、生産調整として扱われるとともに交付金の対象ともなっており、国でも新たに米粉等への助成金として526億円が予算要求されている。こうした機を逃さず、県として米粉の普及拡大に積極的に取り組んでいくべき。また、米の地産地消を図る意味からも県内で微細製粉ができるよう製粉事業者働きかけていくことが必要。



9月定例県議会にて